

製品名: EphB3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10528**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	EPHB3 ETK2 HEK2 TYRO6
別名	Ephrin type-B receptor 3 (EC 2.7.10.1; EPH-like tyrosine kinase 2; EPH-like kinase 2; Embryonic kinase 2; EK2; hEK2; Tyrosine-protein kinase TYRO6)
遺伝子 ID	2049.0
SwissProt ID	P54753
免疫原	アミノ酸範囲 650~700 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

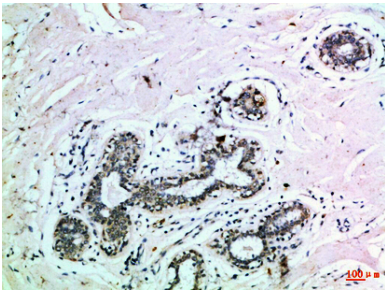
エフリン受容体とそのリガンドであるエフリンは、特に神経系において、多くの発達過程を媒介します。エフリンは、その構造と配

列関係に基づき、グリコシルホスファチジルイノシトール結合によって膜に固定されるエフリン A (EFNA) クラスと、膜貫通タンパク質であるエフリン B (EFNB) クラスに分類されます。Eph ファミリーの受容体は、細胞外ドメイン配列の類似性と、エフリン A およびエフリン B リガンドへの結合親和性に基づいて、2つのグループに分けられます。エフリン受容体は、受容体チロシンキナーゼ (RTK) ファミリーの最大のサブグループを構成しています。この遺伝子は、エフリン B ファミリーメンバーの受容体をコードしています。[RefSeq 提供、2010年3月]触媒活性: $ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸$ 。機能: エフリン B ファミリーのメンバーの受容体。エフリン B1 および B2 に結合する。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。チロシンタンパク質キナーゼファミリー。エフリン受容体サブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。類似性: 1つの SAM (無菌 α モチーフ) ドメインを含む。類似性: 2つのフィブロネクチン III 型ドメインを含む。組織特異性: 普遍的。、

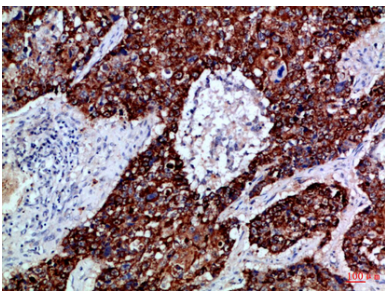
研究分野

軸索ガイダンス;

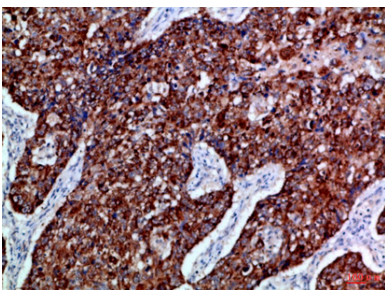
画像データ



パラフィン包埋ヒト乳房の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された